



あけましておめでとうございます

園長 笛木 哲

新年を迎え、ご家族がそれぞれの立場で、それぞれの抱負をおもちになったことと思います。令和4年が、皆様にとって輝かしい一年になることをご祈念申し上げます。

元旦に立てた抱負（誓い）を三日坊主で終わらせたことが何度もあり、後悔するばかりの人生です。昨年、「失敗のない人生はそれこそ失敗でございます」（作家 森まゆみ「眞子さんの結婚に思う」朝日新聞 2021/10/22）という言葉に出会いました。森さんは続けて「人に強い人生は恨みしか残らないが、自分の信念で選んだことなら責任のとりようはある。思うように羽ばたいてください。」と結んでいます。私のとるに足りない抱負はともかく、これから未来に向かってぐんぐん伸びる子ども達のゴールは、はるか彼方です。子ども達は、これからたくさんの成功体験とそれ以上の失敗体験を繰り返しながら、「いつかは世界」、いや「きっと宇宙」にまで活動の場を広げて活躍してくれることでしょ。その大切な土台づくりである幼児教育に責任をもち、未来に続く「命」を大切に育ててまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

## お知らせ

### □ちゅうりっぷ組に4人のお友だちが入級します

いぐちれみ 井口玲美さん ごとうあいと 後藤愛斗くん やまざきな なみ 山崎菜々美さん やたほりゆづ 矢田堀優月さん

### □3学期の主な行事について

- ・ 保育参観（本日 1/11 配布の文書をご参照ください。懇談会は実施いたしません。）

※保護者一名の参観です。双子の保護者はお子さん一名につき一名とします。

- ・ 体操自由参観・教材販売・バスコース確認

年少【ばら組・ひまわり組】…2月9日(水)      年少【もも組】…2月10日(木)

年中…2月16日(水)

年長…2月24日(木)

※保護者一名の参観です。満3歳（ちゅうりっぷ組）の参観はありません。

- ・ 作品展      2月19日(土)午前中

※ちゅうりっぷ組のみ教材販売を行います。

※保護者一名の参観です。

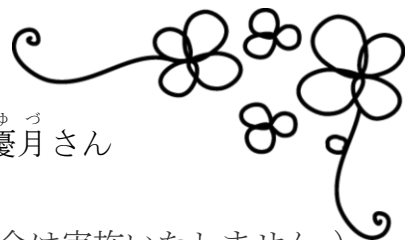
- ・ 卒園式      3月16日(水)

※2月に詳細をお知らせします。

### ★新型コロナウイルス感染防止について

引き続き『体温測定』『マスクの着用』『手指の消毒』にご協力をお願いします。

『体調不良』の場合は園内に入ることはお控えください。



## 子どもが『せんせい』

冷たい北風が吹き付ける園庭の端から端まで、水がいっぱい入ったじょうろを運ぶ年少さん。「園長先生、チューリップが出た！」とニコニコ笑顔で指さす先には名も知らぬ雑草の双葉が頼りなさそうに風に揺れています。「うんうん」と頷くとその子は愛おしそうになでてあげてました。何日か過ぎて同じ子が、「大きくなってる！」と教えてくれました。私の目には変わらぬ大きさの双葉でも彼女の目には期待も含めて成長した姿が見えるのでしょうか。よく見るとその脇の地面から本物のチューリップがちょっぴり顔を覗かせていますが彼女は気づきません。冬休みが明け、二つの違いに気づいた時に、どんな言葉をかけてくれるのか楽しみです。

## とねがわ幼稚園の『せんせい』

幼稚園がしなければならない仕事は人間性を育てる教育です。もちろん幼児教育を担う場ですから、知識技能の習得は必要です。しかし、決して強制的に無理矢理に教え込むことではありません。運動会で、前後左右の列が揃った一糸乱れぬ行進を求めるとします。それは子どもからの発想ではなく、「揃うときれいだから」「教師の指導力を誇示できるから」といった教師の思いを優先しています。教師の自己満足の足下で、子どもは思考を止め、大人の都合に合わせるだけの操り人形になります。そういう絶対的な教師優位の整然とした規律ある教育と、難しい課題に向き合わせ、挑戦させ、乗り越えさせることで子どもを成長させる教育は似ているようでいて明らかに違います。とねがわ幼稚園は、子どもが主人公の幼稚園です。

幼児教育は、子どもが自ら仲間と力を合わせ活動することを通して、人間性を豊かにする場です。教師は子どもの気持ちに寄り添い、意図的に関わりながら活動を支える役割です。私が尊敬する先生の「築山に登ることが「よい悪い」、それを止めることが「よい悪い」の問題は別として、子どもたちが楽しそうにしている姿を見て、「困る」と感じる先生と、「楽しそうだ」と喜ぶ先生のどちらが教育者だろうか。私の子どもなら、「ああ楽しそうだ」と感じる先生に預けたい。私の経験では、そういう先生だけが本当によい仕事をしている。」という言葉は、教師のあり方を示しています。本園の『せんせい』は、『子どもと一緒に色々なことを学んでいくことを楽しむ』せんせいです。



### 園児が輝く時

※HPで「笑顔の子どもたち」を紹介しています。よろしかったらご覧ください。



### 卒園生の活躍にエール

12月26日、京都で行われた『全国高等学校駅伝競走大会』に、本園卒園生 小島光稀君が、山梨県代表（山梨学院）として、1年生ながら第4区で出場しました。力走に胸を打たれました。総合41位 おめでとう。



子どもの発想力は無限大 段ボールの空き箱があれば、「テント」「座敷」「宇宙船」とどんなものにも変身します。今年も子ども達が生み出す世界が楽しみです。